

議員の賛否を公開します

上程された議案・概要	桐原 剛雄	荒木 俊彦	津田 桂伸	永田 和彦	坂本 典光	佐藤 真二	豊瀬 和久	山本 富一	山部 良二	三宮 美香	大塚 益雄	西川 秀貴	時松 聖弘	田代 元氣	大村 裕郎	賛成 ○	反対 ●
一般会計歳入歳出決算の認定	—	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	2
国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	—	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
介護保険特別会計歳入歳出 決算の認定	—	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	—	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否の分かれた議案のみ掲載しています。

■賛否表 ○は(賛成) ●は(反対) 葉は(棄権) 欠は(欠席)

その他の議案については議会ホームページをご覧ください。

大津町議会

検索

誰もが住みたくなるまちへ

大津町のこんなことが決まりました



9月定例会議

会期期間15日間

9月4日～9月18日

9月定例会議の議案等は
 予算……………13件
 決算……………9件
 条例について…5件
 人事……………1件

予算 一般会計

20,121,211千円

新

健康保険課 10万円

がん患者QOL向上事業
乳房補整具購入補助

企業振興課 70万円

通勤バス実証実験

規

生涯学習課 876万円

地域スポーツクラブ活動
重点地域事業

農業委員会 12万円

耕作放棄地解消事業
栗植栽予定

令和5年度にTSMCの進出が町に与えた影響を数字で見ると

令和5年度の決算審査結果について

一般会計・国民健康保険等特別会計および公共下水道事業等地方公共企業いずれも健全な財政状況にある。一般会計では歳入から歳出を差し引いた実質収支は4億5千990万円余りの黒字を確保し財政の健全性が維持されている。

歳入歳出の主な状況は、歳入面ではTSMC関連企業等の進出に伴う企業の設備投資や住宅等の建設による効果として町民税・固定資産税などが前年度比1億5千万円余の増となり、町税全体として60億円に迫り、歳出面では地域経済の急激な変化により新たな事業創設として工業団地整備・駅周辺整備等のほか、社会情勢に対応するための農・商・工振興策など既存の事業に対する支出が顕著となった。

今後、新規事業に対する予算化も見込まれることから、歳入面では新たな財源の確保や民間資金の活用、官民連携の取り組みなどの検討を行い、歳出面では既存事業に対する影響が生じないような予算の確保と新たな需要に対する重点事業の選択等と併せて、今後の町としての投資計画に資する中期の財政計画の策定に取り組んでいただきたい。



いまむら あきひろ
今村 昭彦
大津町代表監査委員

議員の視点

(本会議での質疑の一部を抜粋して掲載しています)

本会議動画配信



田代 元氣議員 たしろ げんき	問 通勤バスの実証実験について、県内のバス事業者が年内で全国共通の交通系ICカードの利用を廃止するようだが、通勤バスの利用者の利便性が悪くならないか。	答 県が推奨しているくまモンのICカードや今後導入が予定されているクレジットカードのタッチ決済を推奨し、利用者の減少にならないよう周知をしたい。
時松 智弘議員 ときまつ ともひろ	問 今回町道に認定する引水高架橋下の道路と西鶴踏切から西側に伸びる道路について歩行者優先の安全対策や通学路としての防犯灯や歩道のカラー化を行わないか。	答 大津小学校まで伸びる既存の町道部分も含め歩道を整備する。引水高架橋下の防犯灯も新設し、カラー化など路面標示も学校や警察と協議する。
山部 良二議員 やまべ しょうじ	問 自動運転トラクターの導入に関して、最初は不具合など故障した際は修理に従来の時間も時間や修理費用がかかると聞くが対応はどのようにしているのか。	答 現時点では不具合などトラブルの報告はないが、購入された農家やメーカーから情報を収集しながらメンテナンスも含めてサポート体制をとっていききたい。
佐藤 真二議員 さとう まこと	問 スマート農業推進の補助金。当初予算1千万から550万円の増額補正。申請数の増加とのことだが、補助は町単独財源で、隙がない支出になるのではないか。	答 現在は1経営体につき1年度に1回を限度としているが、今後は同じような機会は1経営体1回限りという対応をすべきかと検討している。
永田 和彦議員 ながた かずひこ	問 新型コロナワクチン接種は自己負担が基本だが、一般財源から補助するにあたって町としてどう考えているのか。また、国の連携や財源措置はどうなっているのか。	答 今年度から自己負担金が発生することで接種率が低下する可能性がある。そのため、一般財源を投じて高齢者が接種しやすい負担金に設定することが必要だと考えている。財源の一部は、地方交付税の交付対象となっている。
豊瀬 和久議員 とよせ かつひさ	問 あけぼの団地の駐車場は、以前は棟ごとに管理していたようだが、なぜ団地全体で管理するようになったのか経緯を知りたい。	答 昔は各棟の組合で管理をしていたが、違反駐車への対応が様々だったことなどから令和3年に統合管理運営されるようになったと聞いている。駐車違反が激減したり、駐車場料金も一括で納入できるなどメリットもあったと聞いている。
荒木 俊彦議員 あらい ぶんひこ	問 社会教育施設の貸し出しが現在は1時間単位だが、30分単位で区切ると手続きが煩雑になるのはなぜか。	答 30分単位がいいという意見もあったが、細かくし過ぎると煩雑になるため、8割近くが1時間単位のままの方が利用しやすいとの意見であった。

5

議会の流れ



4